

SEA TRIAL

SURF RIDER

REGAL 19 SURF

トーイングスポーツ好きの人には見逃せないニューモデルが国内デビューを果たした。

「REGAL 19 Surf」は「REGAL (リーガル)」のミニマムボートにVOLVO PENTAの「Forward Drive」をインストール。

さらには「RegalVue」と名付けられたサーフコントロールシステムを搭載したトーイング——ウェイクサーフィンに特化したモデルだ。

text: Takayuki Kijima photo: Makoto Yamada, REGAL BOATS
special thanks: REGAL JAPAN <http://regalboats.jp>



VOLVO PENTA Forward Drive 搭載!

ウェイキの方向、サイズ、スピードを一括コントロールでき
操船者の負担を大幅に減らしてくれる最新ランナバウト

「REGAL (リーガル)」の数あるラインナップの中でも、特に小型モデルの走行ポテンシャルの高さは以前から評判であった。本国アメリカでは隔年で開催されている REGAL のプレス発表会などで試乗するチャンスがあったが、筆者も含め、海外メディアのジャーナリストたちの評価も上々。まさにランナバウトといった走りで、非常に楽しい走行フィールを堪能できるモデルが多かった。しかし残念なことに、このクラスとなると国産艇にも競合モデルが多いため、これまで日本に輸入されるケースはさほど多くなかった。

*

19フィートの「REGAL 19 Surf」は、現状のラインナップではミニマムクラスだが、その走行パフォーマンスは抜群だ。船型自体は年々ブラッシュアップされているが、ベースは FasTrac ハル。これは REGAL オリジナルのハルで、レーシング艇などのパフォーマンスボートに多く用いられているステップドハルをアイデアに開発された艇体だ。艇体のほぼ中央に1段のステップが設けられ、両サイドに張り出しがある。低速での直進安定性を高め、高速走行時、メーカー発表によるとノーマルハルよりも最大約26%のスピード性能向上が図られるそう。また燃費も向上しており、こちらは30%の低燃費を実現している。

そんな魅力ある REGAL のスモールボートだが、さらに今回は以前から非常に気になっていた新機軸が導入された。VOLVO PENTA が開発した新たなスターンドライブ (インアウト)、「Forward Drive (フォワードドライブ)」である。Forward Drive は簡単に言えば、前向きにプロペラが付けられた船内外機だ。すなわちプロペラからの推力で





艇体を押し進めるのではなく、プロペラの駆動によって牽引する、IPSと同様の概念のパワートレインである。Forward Driveは、その革新的な技術が賞され、2015年のマイアミボートショーで「NMMA Innovation Award at the 2015」を受賞している。

現在、このForward DriveをインストールしたREGALは4艇種ある。「Surf」というシリーズでまとめられているが、上から「25 RX Surf」、「23 RX Surf」、「21 RX Surf」、「19 Surf」である。「19 Surf」のみRXが付かないが、以前からのREGALの命名パターンからすると「RX」は装備品関連の違い。たとえば21ft以上のトローイングタワーは「POWERTOWER」という電動可倒式のタワーが着けられているが、「19 Surf」のそれは固定式という具合だ。ただしサイズを考えると今後19フィートに関してはRX仕様は追加されないかもしれない。

*



今回シートトライアルしたのはそのミニマム艇である「19 Surf」。元々ハイポテンシャルな19フィート艇に新たなパワートレインはどうマッチングするか、非常に気になるところだった。しかし当日は海に出るのもためらわれるクラスの暴風。無理をしておの試乗になった。短時間の試乗だったが、従来のインアウトモデルである「1900 ES」などと同様

のハイパフォーマンスは垣間見られ、走りについては上々である。言われなければ従来のドライブなのかForward Driveなのかは分からなかったかもしれない。

Forward Driveの最大のメリットはやはりトローイングスポーツの際に実感できるはずだ。水上スキーやウェイクボード、ビスケットを使ったトローイングはもちろんだが、最もメリットが大きいのはウェイクサーフィンだろう。アメリカではかなり前から盛んに行われているが、近年日本でも人口が増えつつある（ちなみに「ウェイクサーフィン」は西日本では「エンドレスサーフィン」と呼ばれることが多い）。Forward DriveについてVOLVO PENTAが開発段階からREGALと組んでいたのも、やはりウェイクサーフィンブームによる。

従来型のドライブの場合、プロペラがスイミングプラットフォームよりも後ろにつき出してしまう。そうすると事故の危険性もゼロではなく、インアウト艇でのサーフィンは基本NGというのが常識だった。しかしForward Driveであればむしろ安全に楽しめる。トローイングやサーフィンはインボード艇（またはアウトボード艇）を使うのが当たり前だった業界の「常識」を大きく覆す新機構である。



ソフトな感触のSeaDekが全面に張られた広いスイミングプラットフォーム。前方を向いたプロペラは完全に船体に隠され、パワースタートは安全に昇降し、サーフィンを楽しむことができる。業界の常識を大きく覆す「VOLVO PENTA Forward Drive」という新機構。REGAL本家のWEBサイトでは「パラダイムシフト(これまで支配的だった前提が劇的に変化すること)」の言葉で紹介されている。



シンプルなレイアウトの「ウライダー」。「RegalVue」と名付けられたサーフコントロールシステムと「Forward Drive」で、ウェイキの方向、サイズ、スピードを一括コントロール。これまでは別次元のトーニングを実現している。デッキ細部のデザインもクール。

また「19 Surf」の魅力は単に Forward Drive をインストールしただけではなく、さまざまに「Surf」に特化している点だ。特に気に入ったのが、タッチパネル式のコンソール。「RegalVue」と名付けられたサーフコントロールシステムだ。スピードとサーフィンする側のウェイキの方向を数タップするだけで設定でき、以降その状態で走行し続けることが可能となる。「ウェイキの方向」というのは、通常のサーフィン同様、レギュラーの波（左舷後方に立つウェイキ）とグーフィーの波（右舷後方に立つウェ

イキ）を指し、どちらもトリムタブで大小つけられる。かつては左舷後方の波を大きくするためには、同乗者全員が左舷に寄って艇体を傾けることもしていたが、このドライブを使えば、そういった苦勞も激減しそうだ。

＊

「19 SUFR」は新機構をたっぷりと満載したミニマムサイズのトーイング用ランナバウト。REGALならではの気の利いた装備の数々で、ボーディングの質を格段にグレードアップしてくれるはずだ。P.B.



REGAL 19 Surf

全長 6 m
全幅 2.5 m
喫水 0.9 m
重量 1.40 ton
エンジン VOLVO PENTA V6 240 Catalyst Forward Drive
最高出力 240 HP
燃料タンク 114 L
問い合わせ先 リーガル・ジャパン TEL: 079-322-8800
<http://regalboats.jp>



vimeo